

タイピング練習 その5

「文章」の練習をします。

下記を入力しましょう。

1. こちらのパレハ病院は、明日は休診でしょうか。
2. 岩手県の観光大使を務める岩田盛男です。
3. 打合せの予約は平日の午前、午後を選んでいただきます。
4. 演奏会の準備が大変だったでしょう。たくさん食べてくださいね。
5. こんな奇跡まで起こすなんて、音楽の力は無限だと思いませんか。
6. 活発な議論が交わされましたが、本日3日目結論が出ないまま閉会した。
7. 「報連相」も大事だが、日々のコミュニケーションも大事です。
8. 暮らしやすい街ナンバー1 のパレハ市緑ヶ丘です。交通の便がとてもいい。
9. 奇跡の水と呼ばれる湧水軟水があります。誰でも自由に取水できます。
10. 食べ物・SNS・若者に関連しているものが検索ワードの上位を占めた。
11. 腹筋は毎日継続することを目指したいです。
12. 公園の遠足ではたくさんの石碑石像をめぐり、その意味を改めて知る。
13. 正午にスタートし、日没までにゴールできないと記録なしとなります。
14. この一文は注意事項になるので文頭に印を付けておいてください。
15. メンテナンスが必要であれば、佐々岡までご連絡ください。
16. お手数ですが、大人一名・子供二名分の申込をお願いいたします。
17. 人数が揃ったなら、まずは野球をやってみるべきだと思います。
18. 明日、総務係の山本さん、小林さん、私で食事をしに行きます。
19. 自転車、バス、徒歩で郵便局に貯金をしに行く。
20. 酔っていますが、ハーブティーを飲んだら少し楽になるでしょう。

■長文練習

タイピングが速くなると、日常の作業が捗ります。なんだかんだパソコンを触る時間の大半は入力です。様々な便利な機能を覚えるよりも「タイピングをマスター」する方が数段時間の効率化に繋がります。タイピングが速い人の特徴はキーボードの位置を正確に覚えているという共通点があります。指を動かす際に下を見ないで画面を見ているため、誤字にもすぐに気が付き、予測変換も確認しながらタイピングをすることができます。「頭で理解」というよりも「体で理解」や「指で理解」といった方が適切でしょう。一方タイピングが遅い人はその逆で、キーボードの位置を覚えていないという点があります。キーボードの位置を覚えていないと、わざわざ下を確認しながら打つことになり、誤字にも気が付きづらくなります。ミスが多くなるので当然入力速度は遅くなります。そのため、タイピングを早くするコツの第一歩目はキーボードの位置を正確に把握することです。ホームポジションとは、タイピングをする際に最初に指を置いておく場所のことです。全ての文字キーはこのホームポジションからの位置関係で覚えていきます。1文字打った後は必ずホームポジションに戻るようになりましょう。そうすることで次に打ちたい文字がどこにあるか感覚的に分かるようになります。ちなみにキーボードの「F」「J」には突起が付いています。そのため、下を見なくてもこの突起を目印にしてホームポジションに戻って来られるようになります。パソコンのキーボードには文字が書かれています、これを見ずに文字を打つことをタッチタイピングといいます。タッチタイピングに慣れることがタイピングを早くするコツです。キーの文字を読みながらのタイピングではいつまでたっても早くなりません。ちなみにタッチタイピングがうまくなるには先ほど解説したホームポジションに戻るという意識が必要です。つまりホームポジションに戻りながら、タッチタイピングを意識して練習を行うことが大切です。